

特定地域づくり事業協同組合の運営イメージ

仕事の組み合わせ例

1

4月

農業



5~10月

飲食業



11~3月

酒造業



2

2~4月

水産業



5、7~9月

宿泊業



6、10~1月

食品加工業



3

AM

介護事業



or

こども園



PM

小売業



小規模事業者

加工業を
営むAさん



繁忙期のとくに人手が足りないときに確実な人手が確保できるこの仕組みがあることで、稼ぐ時にきちんと稼げて、地域に合った働き方、体制が作れるのでは、と期待します。

観光業を
営むBさん



地方の課題と自分のやりがいをマッチさせることに適した仕組みだと思えます。一年でいくつかの仕事をしていただき、ミスマッチのない移住に繋がると嬉しいです。地方で働くことや移住することへのハードルが下がり、チャレンジしやすい環境ができることを期待します。

制度活用を望む
若者等

事業協同組合に
雇用される予定の
Cさん



季節が巡るとともに仕事を変えていく。そんなライフスタイルに憧れていました。このように地域の現状と環境の把握をしながら様々な事業に従事したいと思っています。

事業協同組合に
雇用される予定の
Dさん



地方の暮らしに興味があるけど、どんな暮らしを送れるのかイメージがわからない。そんなときにこの制度を使って、必要とされる職場でいくつかの仕事をする事で、地方の暮らしのイメージをより現実的なものにすることができるのではないかと思います。